

いい表情の子を育む

通勤中に、電車の窓からふと外を見ると公園の桜が満開を迎えていました。春の訪れを感じます。春は巣立ちの時期であると同時に、出逢いの時期です。3日31日、本校から15人の教職員一人ひとりがそれぞれのステージに向かって巣立っていきました。そして、翌4月1日、15人の教職員を迎え、子どもたちとの新たな出逢いに向けて準備を始めています。

さて、本日4月6日、新1年生71人を迎えました。1年生と3年生が2クラス、2年生と4～6年生が3クラス、学習室が6クラスでスタートします。

本校の教育目標は、次の4つです。

「よく考える子」

- 進んで挙手して発言したり、人の話を聴いたりして自立的に考えを深められる子
- 注意されたら自分を振り返り、自分の悪い点は直して、よりよくなろうと努力できる子

「思いやりのある子」

- 人とのかかわりを大切にして、みんなで助け合い、認め合い、安心して過ごせる集団をつくる子
- いじめ・差別・暴力・仲間はずれを許さない規範意識の高い子

「健康で、たくましい子」

- 進んで体力づくりや運動に親しむ、健康で元気な子
- 「よい表情」で自分から挨拶ができる子

「やりぬく子」

- 進んで物事に取り組み、創意工夫しながら、みんなと協力し最後までねばり強く取り組む子
- 学校生活について進んで話し合い、自分たちで学校生活を豊かにしていくことができる子

このような姿をめざして子どもたちを育てていくために、「受容」と「共感」を大切にし、「全員参加」「全員理解」の授業づくりに取り組んでいます。

ですが、残念なことに、昨年度12月に児童に実施したアンケートの結果では「自分のクラスには、友だちが嫌がることをしてはいけないという雰囲気が(あまり)ない」と感じているという回答が一定数ありました。このことを真摯に受け止め、「仲間はずれや差別、暴力などを見逃すことのないようにしていく」とともに、「居心地のよい学級の雰囲気をつくること」を大切にしていこうと、川崎小学校の教職員と話しています。また、運動に親しんでいる児童とそうでない児童とで二極化が起きていることを受け、児童が楽しく体を動かせる機会をつかっていきたいとも話しています。

子どもたちが「学校へ行くのが楽しい!」「先生には、何でも相談できる」と、心から思えるような学校環境をつかっていけるよう、そして、子どもたちの思いや夢を実現できるよう、教職員一同努力していきます。どうぞよろしく願います。